
乳幼児を持つ父親の46.6%が「隠れ育休」取得
理想の取得期間は30日間だが、現実には3日程度でギャップが浮き彫りに！

積極的に育児を楽しむ父親「イクメン」が増える一方で、厚生労働省が毎年発表する男性の育児休業取得率が伸び悩んでいることから、NPO法人ファザーリング・ジャパン(東京都文京区、代表:安藤哲也)では、育児休業制度とは別に有給休暇などを利用して産後の妻のサポートや育児のための休日(以下「隠れ育休」)を取得する父親が多いのではないかとこの点に着目し、乳幼児を持つパパを対象に、「隠れ育休」調査を実施いたしました。調査概要は下記のとおり。

調査結果から、乳幼児を持つ父親の46.6%が「隠れ育休」を取得していましたが、取得期間は3日前後で半数を占め、一週間以内の取得で8割を超えたため短期間の取得であることがわかりました。ただし、子どもの数が増えるほど1週間以上取得する比率が増加しており、第2子・第3子が産まれると核家族では手が足りず、必然的に父親の育児参加を促すきっかけになっていると推測されます。

また、取得できなかった父親たちに取得したい期間を尋ねたところ、30日間で最多となったことから、実際の取得期間と理想の取得期間に大きなギャップがあることが明らかになりました。

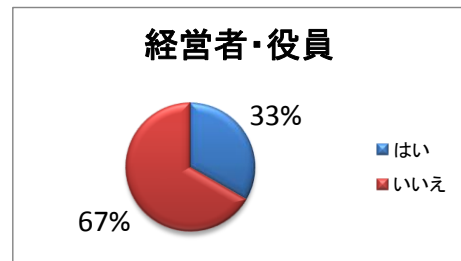
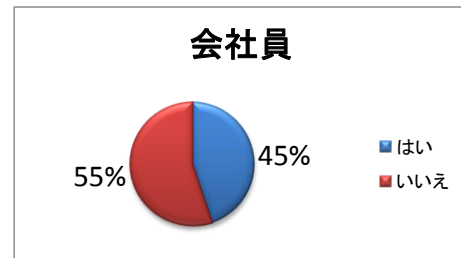
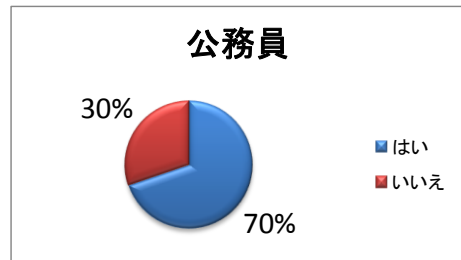
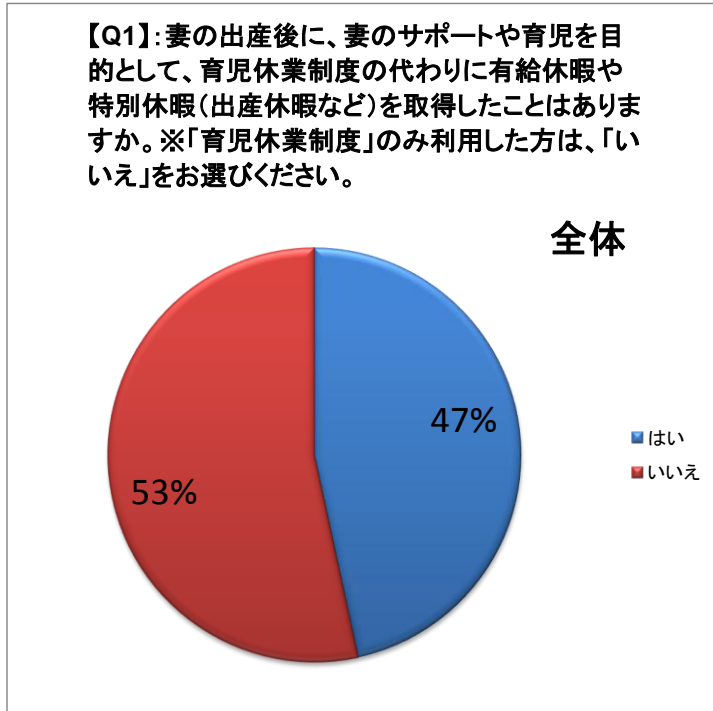
【NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也】

調査結果から男性の育児参加意識の高まりはうかがえるが、育児休業制度の定着はまだまだのようだ。育休取得率を上げるには、欧州並みに経済的支援を厚くしたり、取得によってキャリアロスやマイナス評価が起きないこと、加えて職場の上司同僚の理解が必要。今後、企業は制度より風土改革に力を入れて欲しい

【アンケート概要】

当該アンケート結果の詳細分析と講評・提言については、2011年7月26日に開催の「さんきゅーパパプロジェクト報告イベント」にて行います。イベント詳細は <http://www.fathering.jp/sankyu/symposium2.html> をご覧ください。
イベントへの申込は <http://www.fathering.jp/sankyu/enquete/index.html>

内訳



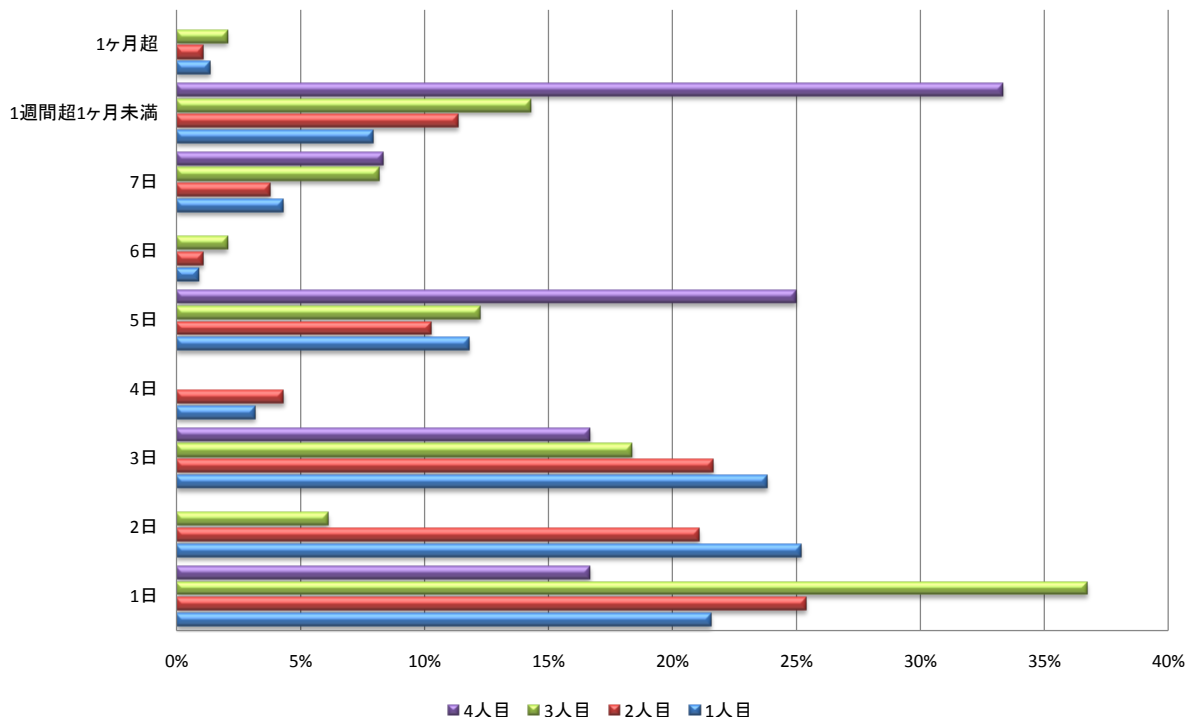
【講評】
妻の出産後に、妻のサポートや育児を目的として育児休業制度の代わりに有給休暇等を取得した父親は47%であり、育児休業取得率1.38（平成22年度）と比較すると大きな乖離がわかりました。その内訳を見てみると、公務員は取得率が70%と会社員、経営者・役員と比較し、有給休暇等がとりやすいことが明確になりました。

【Q2】:Q1で、「妻の出産後に、妻のサポートや育児を目的として、育児休業制度の代わりに有給休暇や特別休暇(出産休暇など)を取得したことがある」とお答えの方にお伺いします。

それは何人目のお子さまのときで、連続何日間でしたか？あなたが休暇を取得したときのお子さまを全てお選びください。

※複数回休暇を取得した経験がある方は、それぞれについて一番長く取った期間をご回答ください。

※お子様が6人以上いらっしゃる方は、5人目までについてお答えください。



【講評】

Q1で有給休暇等を取得した父親たちの連続取得期間は平均すると3日程度となり、短期間であることがわかりました。ただし、「1週間超1ヶ月未満」をみると、子供が増えるほど取得率が伸びる傾向にあり、核家族では手が足りず、必然的に父親の育児参加を促す結果になったと考えられます。

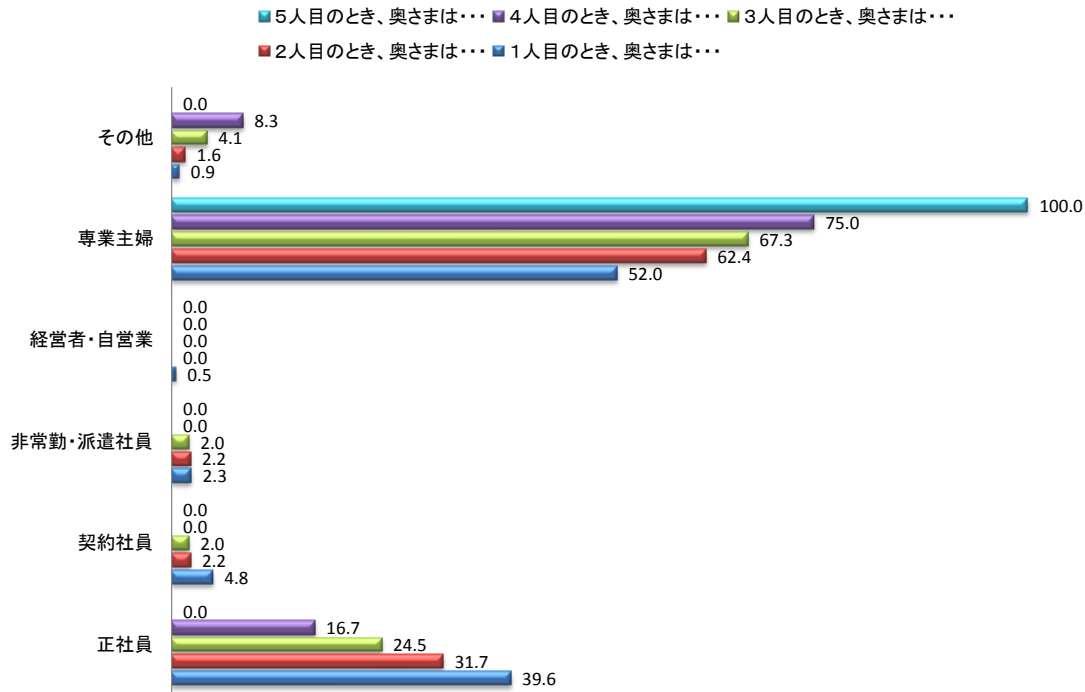
給付金に上限がある育児休業制度と比較して、有給休暇等の利用は経済的な負担はないにもかかわらず、短期間しか取得できていない現状から、父親の育児休業取得率が伸びないのは、長期休暇をとりにくい職場環境等が挙げられると推測されます。

【Q3】:Q1で、「妻の出産後に、妻のサポートや育児を目的として、育児休業制度の代わりに有給休暇や特別休暇(出産休暇など)を取得したことがある」とお答えの方にお伺いします。

1～5人目のそれぞれのお子さまについて、休暇をとった時点でのあなたの奥さまの職業の状況をお選びください。(1つずつ)

※お子様が6人以上いらっしゃる方は、5人目までについてお答えください。

※あてはまるものが複数ある場合、その中で最も比重が高いものをお選びください。



【講評】

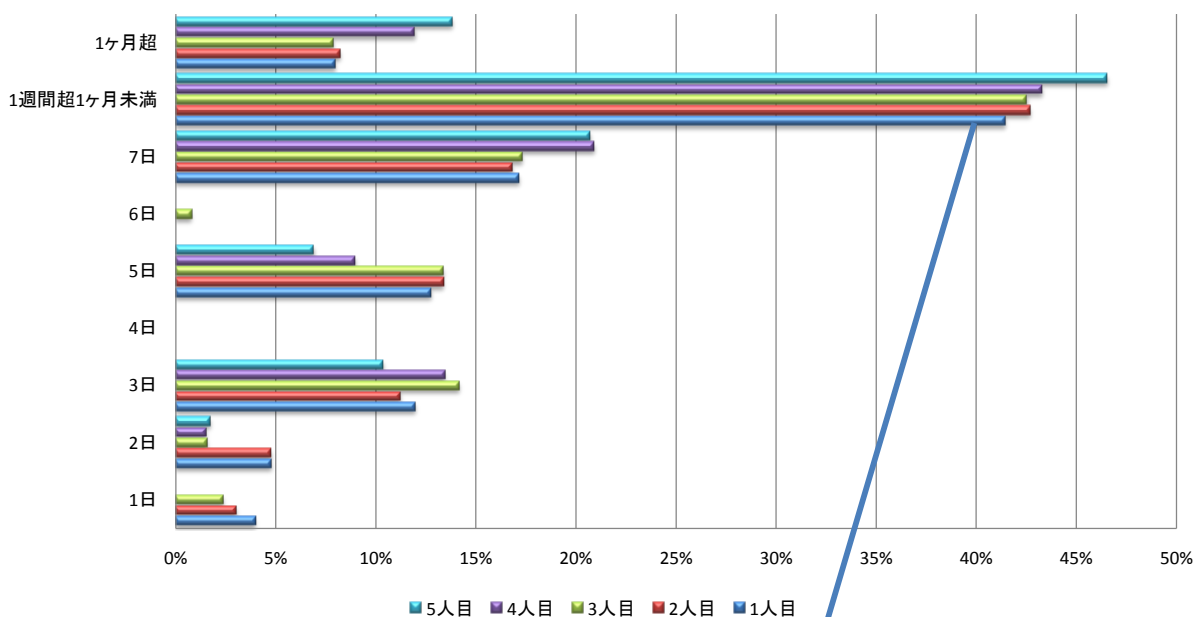
父親が妻のサポートや育児を目的に有給休暇等を取得したときの妻の職業について質問したところ、専業主婦が最も多く、子供が増えるほど、専業主婦の比率が高まっています。子供が増えるほど短期的な父親のサポートでは、妻の育児負担はそれほど軽減されず、仕事との両立を阻む原因となっているとも推測できます。

【Q4】:Q1で、「妻の出産後に、妻のサポートや育児を目的として、育児休業制度の代わりに有給休暇や特別休暇(出産休暇など)を取得したことはない」とお答えの方にお伺いします。

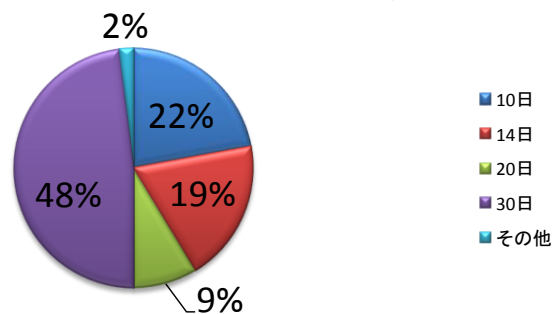
今後、機会があれば、妻の出産後に、妻のサポートや育児を目的として育児休業制度の代わりに有給休暇や特別休暇(出産休暇など)を取得してみたいですか。



【Q5】 Q4で、「妻の出産後に、妻のサポートや育児を目的として、育児休業の代わりに有給休暇や特別休暇(出産休暇など)を取得してみたい」とお答えの方にお伺いします。
 あなたは、何人目のお子さまのために連続何日間取得してみたいと思いますか。あなたが休暇を取得してみたいと思うお子さまを全てお選びください。
 ※5人目までのお子さまについてお答えください。



1人目のために1週間超1ヶ月未満の内訳



【講評】

妻のサポートや育児を目的に有給休暇等を取得しなかった父親に何人目の子供のときに連続何日間取得したいか質問したところ、1週間超1ヶ月未満が圧倒的に多いものの、子供の数とはそれほど相関関係がないことがわかりました。そこで、子どもが1人目のときに「1週間超1ヶ月未満」取得したいと回答した日数の内訳を見てみると30日が最多であり、父親が妻のサポートや育児を目的に有給休暇等を1ヶ月程度は取得したいという意欲はあっても、実際取れなかったり取っても短期間であるという、理想と現実のギャップが浮き彫りになった結果となりました。

調査概要

■調査方法	インターネットリサーチ
■実施機関	株式会社マクロミル
■調査対象	1歳半以下の子をもつ20歳以上の男性
■調査エリア	全国
■実施期間	2011年06月23日(木)～2011年06月24日(金)
■有効サンプル数	1030

[TABLE001]

SEX	性別	N	%
	単一回答		
1	男性	1030	100.0
2	女性	0	0.0
全体		1030	100.0

[TABLE002]

AGEID	年齢	N	%
	単一回答		
1	12才未満	0	0.0
2	12才～19才	0	0.0
3	20才～24才	7	0.7
4	25才～29才	119	11.6
5	30才～34才	355	34.5
6	35才～39才	357	34.7
7	40才～44才	145	14.1
8	45才～49才	42	4.1
9	50才～54才	4	0.4
10	55才～59才	1	0.1
11	60才以上	0	0.0
全体		1030	100.0

[TABLE003]

PREFECTURE	都道府県	N	%
	単一回答		
1	北海道	47	4.6
2	青森県	8	0.8
3	岩手県	6	0.6
4	宮城県	20	1.9
5	秋田県	2	0.2
6	山形県	4	0.4
7	福島県	8	0.8
8	茨城県	19	1.8
9	栃木県	13	1.3
10	群馬県	15	1.5
11	埼玉県	52	5.0
12	千葉県	54	5.2
13	東京都	154	15.0
14	神奈川県	96	9.3
15	新潟県	15	1.5
16	富山県	14	1.4
17	石川県	10	1.0
18	福井県	6	0.6
19	山梨県	5	0.5
20	長野県	12	1.2
21	岐阜県	15	1.5
22	静岡県	26	2.5
23	愛知県	75	7.3
24	三重県	14	1.4
25	滋賀県	11	1.1
26	京都府	21	2.0
27	大阪府	77	7.5
28	兵庫県	39	3.8
29	奈良県	12	1.2
30	和歌山県	0	0.0
31	鳥取県	7	0.7
32	島根県	4	0.4
33	岡山県	13	1.3
34	広島県	29	2.8
35	山口県	6	0.6
36	徳島県	2	0.2
37	香川県	12	1.2
38	愛媛県	9	0.9
39	高知県	6	0.6
40	福岡県	43	4.2
41	佐賀県	3	0.3
42	長崎県	7	0.7
43	熊本県	8	0.8
44	大分県	9	0.9
45	宮崎県	2	0.2
46	鹿児島県	13	1.3
47	沖縄県	7	0.7
全体		1030	100.0

[TABLE004]

AREA	地域	N	%
	単一回答		
1	北海道	47	4.6
2	東北地方	48	4.7
3	関東地方	403	39.1
4	中部地方	192	18.6
5	近畿地方	160	15.5
6	中国地方	59	5.7
7	四国地方	29	2.8
8	九州地方	92	8.9
	全体	1030	100.0

[TABLE005]

MARRIED	未既婚	N	%
	単一回答		
1	未婚	0	0.0
2	既婚	1030	100.0
	全体	1030	100.0

[TABLE006]

CHILD	子供の有	N	%
	単一回答		
1	子供なし	0	0.0
2	子供あり	1030	100.0
	全体	1030	100.0

[TABLE007]

HINCOME	世帯年収	N	%
	単一回答		
1	200万未満	4	0.4
2	200～400万未満	176	17.1
3	400～600万未満	354	34.4
4	600～800万未満	199	19.3
5	800～1000万未満	100	9.7
6	1000～1200万未満	50	4.9
7	1200～1500万未満	23	2.2
8	1500～2000万未満	13	1.3
9	2000万円以上	9	0.9
10	わからない	22	2.1
	無回答	80	7.8
	全体	1030	100.0

[TABLE008]

PINCOME	個人年収	N	%
	単一回答		
1	200万未満	11	1.1
2	200～400万未満	272	26.4
3	400～600万未満	399	38.7
4	600～800万未満	163	15.8
5	800～1000万未満	46	4.5
6	1000～1200万未満	22	2.1
7	1200～1500万未満	9	0.9
8	1500～2000万未満	6	0.6
9	2000万円以上	3	0.3
10	わからない	10	1.0
	無回答	89	8.6
	全体	1030	100.0

[TABLE009]

JOB	職業	N	%
	単一回答		
1	公務員	86	8.3
2	経営者・役員	36	3.5
3	会社員(事務系)	198	19.2
4	会社員(技術系)	420	40.8
5	会社員(その他)	290	28.2
6	自営業	0	0.0
7	自由業	0	0.0
8	専業主婦(主夫)	0	0.0
9	パート・アルバイト	0	0.0
10	学生	0	0.0
11	その他	0	0.0
12	無職	0	0.0
	全体	1030	100.0

[TABLE010]

Q1	妻の出産 単一回答	N	%
		1 はい	480
2 いいえ		550	53.4
	全体	1030	100.0

【内訳】

	公務員		会社員		経営者役員	
はい	60	69.8%	408	44.9%	12	33.3%
いいえ	26	30.2%	500	55.1%	24	66.7%
	<u>86</u>		<u>908</u>		<u>36</u>	

[TABLE011]

Q2	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
	441名	185名	49名	12名	4名
1日	22%	25%	37%	17%	以下省略
2日	25%	21%	6%	0%	
3日	24%	22%	18%	17%	
4日	3%	4%	0%	0%	
5日	12%	10%	12%	25%	
6日	1%	1%	2%	0%	
7日	4%	4%	8%	8%	
1週間超1ヶ月未満	8%	11%	14%	33%	
1ヶ月超	1%	1%	2%	0%	

[TABLE012]

Q3	単一回答	全体	1	2	3	4	5	6
			正社員	契約社員	非常勤・派遣社員	経営者・自営業	専業主婦	その他
1	1人目のとき、奥さまは…	442 100.0	175 39.6	21 4.8	10 2.3	2 0.5	230 52.0	4 0.9
2	2人目のとき、奥さまは…	186 100.0	59 31.7	4 2.2	4 2.2	0 0.0	116 62.4	3 1.6
3	3人目のとき、奥さまは…	49 100.0	12 24.5	1 2.0	1 2.0	0 0.0	33 67.3	2 4.1
4	4人目のとき、奥さまは…	12 100.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 75.0	1 8.3
5	5人目のとき、奥さまは…	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0

[TABLE013]

Q4	単一回答	N	%
		1 はい	357
2 いいえ	69	12.5	
3 どちらとも	124	22.5	
	全体	550	100.0

[TABLE014]

Q5	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
	251名	232名	127名	67名	58名
1日	4%	3%	2%	0%	0%
2日	5%	5%	2%	1%	2%
3日	12%	11%	14%	13%	10%
4日	0%	0%	0%	0%	0%
5日	13%	13%	13%	9%	7%
6日	0%	0%	1%	0%	0%
7日	17%	17%	17%	21%	21%
1週間超1ヶ月未満	41%	43%	43%	43%	47%
1ヶ月超	8%	8%	8%	12%	14%

【希望取得日内訳】

	人数	
10日	23	22%
14日	20	19%
20日	9	9%
30日	50	48%
その他	2	2%
	<u>104</u>	<u>100%</u>

【本件に関するお問い合わせ先】

NPO 法人ファザリング・ジャパン さんきゅーパパプロジェクトリーダー つかごし

住所：〒113-0021 東京都文京区本駒込1-3-2-307

メール：info@fathering.jp

Tel：080-1213-5068